

平成24年1月10日

## 「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」について

文化庁では、文化庁メディア芸術祭国内巡回事業の一環として、仙台市での展示を開催いたしますので、お知らせいたします。

### 1. 概要

文化庁では、文化庁メディア芸術祭を、国内各地で巡回上映・展示等を行うことにより、国内各地において優れたメディア芸術の鑑賞機会を提供し、我が国のメディア芸術の発展に資するため、文化庁メディア芸術祭国内巡回事業を実施しています。今年度は、岡山、東京、神戸、長崎、仙台での展示を開催いたします。仙台については別紙のとおり開催いたします。

### 2. 会期

平成24年1月22日（日）～1月29日（日） 会期中無休  
※TRUNK|CREATIVE OFFICE SHARINGは1月28日（土）のみ

### 3. 会場

せんだい演劇工房 10-BOX（メイン会場）  
TRUNK|CREATIVE OFFICE SHARING（イベント会場）

### 4. 開館時間

10:00～17:00

### 5. 観覧料

無料

### 6. 主催等

主催：文化庁  
協力：TRUNK|CREATIVE OFFICE SHARING、せんだい演劇工房 10-BOX

### 7. 参考

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業の仙台についての詳細は、CG-ARTS 協会広報担当（岩佐・木村）までお問い合わせください。

<連絡先>CG-ARTS 協会

TEL : 03-3535-3501 FAX : 03-3562-4840

<担当> 文化庁文化部芸術文化課

支援推進室メディア芸術交流係

支援推進室長 清水 功（内線 2858）

支援推進室長補佐 土居 孝一（内線 2062）

メディア芸術交流係長 片桐由紀子（内線 3031）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-3031（直通）

メディア芸術プラザ URL <http://plaza.bunka.go.jp/>

平成 23 年度文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

# 文化庁メディア芸術祭ネットワークス

## 仙台巡回が 2012 年 1 月 22 日（日）より開催！

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業では「文化庁メディア芸術祭ネットワークス」と題し、全国の美術館やフェスティバルを巡回し、受賞作品の展示や上映を行うことで文化庁メディア芸術祭の魅力を紹介しています。

1 月 22 日（日）から、せんだい演劇工房 10-BOX をメイン会場に、「文化庁メディア芸術祭ネットワークス」仙台巡回を開催します。仙台巡回では、文化庁メディア芸術祭のアート部門に焦点をあて、昨年度の優秀賞受賞作品である『NIGHT LESS』を展示するとともに、作者である田村友一郎氏の創作活動や作品の魅力丁寧に紹介します。また同氏をお迎えし、1 月 27 日（金）に仙台ならではのコラボレーション作品を発表し、1 月 28 日（土）にトークショーを開催します。

会場では、歴代受賞作品の変遷を軸に、文化庁メディア芸術祭の 15 年間の歩みも紹介します。また、会期中には、第 14 回文化庁メディア芸術祭の映像作品も上映します。アート、エンターテインメント、アニメーションの各部門から選ばれた、新しい視覚体験や表現の幅の広がりを感じさせる作品を集めたプログラムです。

## 開催概要

名称：平成 23 年度文化庁メディア芸術祭国内巡回事業 「文化庁メディア芸術祭ネットワークス」  
主催：文化庁  
共催：岡山市デジタルミュージアム、COMITIA、神戸ビエンナーレ 2011、長崎県美術館  
協力：TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING、せんだい演劇工房 10-BOX  
事務局：CG-ARTS 協会（財団法人画像情報教育振興協会）

## 仙台巡回

- 会場：①せんだい演劇工房 10-BOX（メイン会場）  
② TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING（イベント会場）
- 会期：① 1 月 22 日（日）～ 1 月 29 日（日）※会期中無休  
② 1 月 28 日（土）
- 開館時間：午前 10 時～午後 5 時
- 観覧料：無料
- アクセス：① 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-12-9  
② 〒984-8651 宮城県仙台市若林区卸町 2-15-2 5F  
（①⇔②間 徒歩 5 分）
- ・バス / 仙台駅西口バスプール 4 番乗り場（所要時間約 25 分）  
志波町・卸売市場経由 東部工場団地 行  
志波町・卸売市場経由 霞の目営業所 行  
→「演劇工房前」下車 ①まで徒歩 3 分  
→「卸町会館前」下車 ②まで徒歩 1 分
  - ・JR / 仙台駅から JR 仙石線・石巻方面行き 4 分「宮城野原駅」下車、3 番出口より徒歩 25 分
  - ・車 / 仙台駅東口から約 15 分、国道 4 号線バイパス  
卸町交差点から約 3 分
  - ・自転車 / 仙台駅東口から最短ルートで約 20 分



詳細はこちら Web サイト「文化庁メディア芸術プラザ」<http://plaza.bunka.go.jp/>

■文化庁メディア芸術祭について <http://plaza.bunka.go.jp/>

「文化庁メディア芸術祭」はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどを対象にしたフェスティバルで、今年で 15 回目を迎えます。第 14 回では世界 49 ヶ国・地域から 2,645 作品の応募があり、受賞作品展には 70,126 名の来場がありました。今年度の受賞作品展は国立新美術館にて平成 24 年 2 月 22 日（水）から 3 月 4 日（日）まで開催します。

■広報に関するお問合せ先

CG-ARTS 協会 文化事業部 岩佐・木村 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 <http://www.cgarts.or.jp/contact/>

## 展示プログラム

■メイン展示（展示会場：せんだい演劇工房 10-BOX）

『NIGHT LESS』 田村 友一郎（第14回アート部門優秀賞）

全編が Google ストリートビューのイメージだけで構成されたロードムービー。ネブラスカ、千葉、アラスカ、ポルトガル、マルセイユを舞台に国を越えて物語は繰り広げられていく。そこには決して夜は訪れない。前半は作家本人のアフレコ、後半は YouTube の音声などを使用して構成。撮影せずにつくられた映画は、果たして「映画」といえるのだろうか。（11分36秒）



## イベント

### ①コラボレーション作品発表『1/0』

1月27日（金）に、『NIGHT LESS』の作者である田村友一郎氏をお迎えして、仙台市民と作家によるコラボレーション作品を発表します。会場でしか見られない貴重な体験となります。ぜひご覧ください。

日時： 2012年1月27日（金）午前11時～  
場所： せんだい演劇工房 10-BOX 駐車場  
参加費： 無料  
参加方法： 申し込み不要・先着順  
協力： 知的障害者通所施設 のぞみ苑

### ②文化庁メディア芸術祭ネットワークス トークショー

1月28日（土）に、『NIGHT LESS』の作者である田村友一郎氏をお迎えして、トークショーを開催します。映像やインスタレーションなど幅広い作品を発表されている田村さんご本人から、作品や活動についてお話を聴くことのできる貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

出演： 田村 友一郎  
日時： 2012年1月28日（土）午前11時～（1時間程度）  
場所： TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING  
参加費： 無料  
参加方法： 要申込（定員30名）Email：sanka@cgarts.or.jp  
申込〆切： 2012年1月26日（木）



### ■田村 友一郎

1977年富山県生まれ。03年日本大学芸術学部写真学科卒業。06年写真作品『IN PORTRAITS』にて Esquire Digital Photograph Awards2006 審査員特別賞受賞。10年東京藝術大学大学院映像研究科を修了し、現在、後期博士課程に在籍。部屋における視覚構造と、その記録に関するイメージの研究と実践を行う。

## 上映プログラム

第14回文化庁メディア芸術祭の優秀な映像作品を上映します。アート、アニメーション、エンターテインメントの各部門から選ばれた、新しい視覚体験や表現の幅の広がりを感じさせる作品をお届けします。

※上映会場：せんだい演劇工房 10-BOX（※90分プログラム×4回 毎日上映）



1. ©石田 祐康



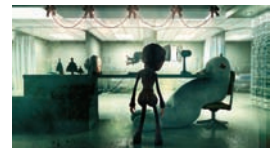
2. ©ビクターエンタテインメント株式会社 / 株式会社ヒップランドミュージック



3. ©ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ



4. ©和田淳 / 東京藝術大学



5. © Beomsik Shimbe Shim, all rights reserved

上映作品：『フミコの告白』 石田 祐康（アニメーション部門優秀賞）画像1

『アルクアラウンド／サカナクション』 関 和亮（エンターテインメント部門優秀賞）画像2

『夏を待っていました／amazarashi』 YKBX（エンターテインメント部門優秀賞）画像3

『わからないブタ』 和田 淳（アニメーション部門優秀賞）画像4

『The Wonder Hospital』 Beomsik Shimbe SHIM（アニメーション部門奨励賞）画像5

『CITY』 KIM Young-geun / KIM Ye-young（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『The Homogenics』 Gerard FREIXES RIBERA（アート部門審査委員会推薦作品）

『Rush』 Maarten ROTS（アート部門審査委員会推薦作品）

『factory of dream- 夢を作る工場』 ユーフラテス（アート部門審査委員会推薦作品）

『海からの使者』 のすふえらとう（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『くちやお』 奥田 昌輝（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『Locus』 横地 政樹（アート部門審査委員会推薦作品）

『Shading』 鮎田 慎士（アート部門審査委員会推薦作品）

『魚に似た唄』 竹内 泰人（アニメーション部門審査委員会推薦作品）

『Pico / SJQ』 土屋 貴史（TAKCOM）（エンターテインメント部門審査委員会推薦作品）